



出典：気候変動適応情報プラットフォーム
(A-PLAT)（気象庁作成）



▲南西諸島から北上したベントトンボ。
現在は、太宰府にも生息しています。

全国・福岡県のトレンド

日本の年平均気温は過去100年で1.4℃上がっています。特に日本では1990年代以降に高温となる年が増えて、今後もさらに気温が上がることに懸念されています。

わたしたちが住む福岡の年平均気温は過去100年で2.5℃も上がっています。日本の平均と比べても高くなっていることがわかります。

以前は真夏でも当然のように屋外で遊ぶことができていましたが、ここ数年は危険な暑さにより不要不急の外出を控える呼びかけもあります。

身近な生き物にも影響

暑さの影響を受けているのはわたしたちヒトだけではなく、屋外に住む生き物たちは、わたしたち以上に敏感に気温の上昇を感じています。

例えば、もともと日本にいた暑さや乾燥に弱いカタツムリは数が減る一方で、暑さに強い外来種が増えています。また、もともとは沖縄などの南方に生息していた生き物たちの生息地域が北上し、太宰府でも見られるようになっていきます。

日ごろ意識しないと気づかない生き物の世界にも、実は大きな環境の変化が現れているのです。

気温は

上昇

している？

マイナス2℃をめざす



本市では昨年度、気温35℃以上となる猛暑日が年間で連続40日通算62日となり、日本一の猛暑のまちとして全国ニュースでも取り上げられました。

たしかに、ここ最近の夏の暑さは尋常ではなく、長時間、屋外にいることは命にもかかります。

今回の特集では、この異常な暑さを含めた近年の気候変動と、この猛暑をどう乗りきるかについて紹介します。市内で環境に対する取り組みを進める皆さんにも話を聴きました。

問い合わせ

環境課 環境保全係（☎内線307）

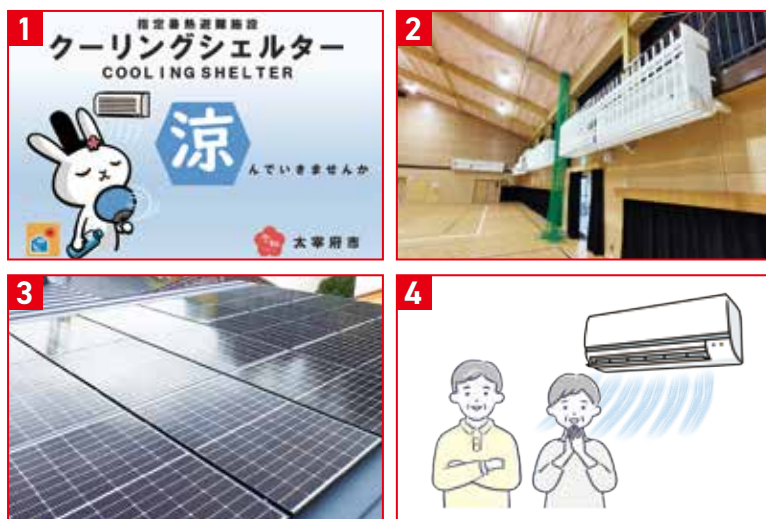
Interview



福岡県地球温暖化防止活動推進員
岩熊 志保 さん

Profile

一般社団法人まほろば自然学校代表理事
ビオトープなど生物多様性の保全活動や県内の学校などで子どもたちに環境教育を行う。
令和4年度から福岡県地球温暖化防止活動推進員として活動。



本市の「猛暑のまち対策」

- 1 熱中症になる前に避難できるようクーリングシェルターを開設。市内公共施設17カ所と、新たに市内郵便局8カ所を指定。
- 2 子どもたちが快適な環境で運動できるように市立小中学校の体育館に空調を設置。
- 3 太陽光発電システムや電気自動車など環境に配慮した設備の導入に地球温暖化対策推進補助金を交付。
- 4 本年度新たに65歳以上のみの高齢者世帯を対象に統一省エネラベル2つ星以上のエアコンの設置にかかる費用への補助金（対象経費の半額で上限3万円）を交付。

method 2 方法2 気温を下げる

Cooling the ground with water sprinkling

▶「打ち水で地面から涼しく」



① ポイント

1. 水は大切な資源です。打ち水には、できるだけ**再利用の水**を使用しましょう。
(例) お風呂の残り水／プールなど水遊びの残り水／雨水など
2. **風通しの良い場所**で、できるだけ**広範囲**にまきましょう。
3. 熱中症に気をつけながら、水分補給はしっかりと、**気温が高すぎる時は避け**ましょう。

▶ 打ち水の効果

打ち水は、昔から行われてきた日本の夏の風物詩で、水が蒸発するときの「気化熱」を利用して地面の温度を冷やす取り組みです。マイナス2℃の効果があるという説もありますが、日中の打ち水では、気温が下がらなくても体感温度は約1.5℃下がるといわれています。

この他にも、打ち水でまいた水が蒸発するとき上昇気流が生じて風が吹き、涼しく感じられることや、打ち水をしている姿に涼しさを感じられる効果があります。

▶ 自由研究におすすめ！

この夏休み、打ち水をテーマにした自由研究をするのはどうでしょうか。

① 研究のポイント

- 家の中で、打ち水に再利用できそうな水や打ち水をする場所を探す。
 - 打ち水をする前と後で、どのくらい気温が下がるか記録する。
 - 打ち水をする時間帯を変えてどのくらい効果があるか調べる。
 - 土に水をまいた場合とアスファルトにまいた場合でどのくらい温度に差がでるか調べる。(周りの人やものに水がかからないように気をつけましょう)
- * 打ち水から環境問題を考えるきっかけにもらえると思います。

▶ 出前講座を利用しませんか？

市の環境課では、打ち水の普及啓発を目的に出前講座をしています。
本年度は6月30日(月)に保育所太宰府園に出向いて、年長児クラスの皆さんと一緒に打ち水をしました。

保育施設や学校、団体などで打ち水体験をやってみたいという要望があれば、ぜひ環境課まで連絡してください。



Interview



太宰府市環境審議会委員
宮原 勝則 さん

Profile

株式会社湊工業代表取締役
打ち水のイベントや虫を通した環境学習など環境保全に関する啓発活動を長年実施。
令和元年より太宰府市環境審議会委員として活動。

method 1 方法1 体温を適切に下げる

Properly lower your body temperature

▶「食生活を改善する」



暑い夏には、そうめんやアイスクリームなど冷たいものが食べたくなりますが、摂り過ぎると胃腸の働きが弱まり食欲不振につながります。夏野菜にはビタミン・ミネラル・水分が多く含まれ、脱水予防に効果的です。1日3食しっかり食事をとることは、脱水予防のためにも大切です。

▶「熱を体にためない」



人は体を動かすと体内で熱が作られて体温が上昇します。そして汗をかき空気中に熱を逃がして体温を調節しています。しかし、湿度が高くて暑い日は、体温調節がうまくいかず、体に熱がこもるおそれがあります。

できること

- 通気性、吸湿性、速乾性の優れた服装をする。
- 氷や冷たいタオルで首の周り、脇の下、足の付け根を冷やす。
- 日傘や帽子で暑さを和らげましょう。

▶「ミストシャワーを浴びる」

本市では市民や観光客参拝客の生命を災害級の暑さから守るためにミストシャワーを購入し、事業者の協力のもと太宰府天満宮参道周辺に設置しました。視覚的に涼しさを感じられるだけでなく、放出される水の粒子が人の肌に直接触れると「気化熱」で涼しさを感じ、体温が下がることを実感できます。ミストの粒子は非常に細かく、洋服などが濡れる心配もありません。熱中症対策として、ぜひミストシャワーを浴びてみてください。



▶「イベントで涼を感じる」

令和の都だざいふ夏涼ENNICHI

問い合わせ 観光推進課 観光推進係 (■内線481)

「日本一の猛暑のまち」で暑さに負けずひんやり楽しく、「涼」を感じられるイベントを開催します。
「地域×学生×企業」とでつくる、ワークショップや、飲食・物産・物販ブースで「涼」を感じましょう。

日時 2025 8/2 SAT 土 8/3 SUN 日 10:00~16:00

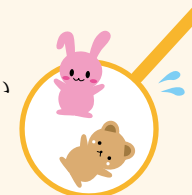
※雨天決行・警報発令時などの荒天時は中止となる場合があります

- 3日(日)は「ちんどん鈴乃家」によるパレードがあります!!
- い草のワークショップ事前予約はこちら⇒



場所 太宰府館 (太宰府市宰府3-2-3)

- 内容
- ・ い草のワークショップ (要予約)
 - ・ つかめる水のワークショップ
 - ・ 打ち水タイム
 - ・ 氷柱宝探し
 - ・ おもちゃすくい
 - ・ 夏の涼味販売 ほか



暑さを和らげる